

# ネットワーク仙台

No.71

## 【目次】

- 1 会員団体の活動の様子を紹介します！
  - ① MOA 美術館利府児童作品展実行委員会/利府町……………1
  - ② 吉岡宿にしぴりかの映画祭実行委員会/大和町 ……………2
- 2 県協議会主催の研修会に参加しました！ ……………3  
～みやぎ地域づくり団体協議会レポート～
- 3 事務局からのお知らせ
  - ① 全国協議会助成事業の募集が開始されました ……………4
  - ② その他のお知らせ ……………5
- 4 編集後記……………5

## 1 会員団体の活動の様子を紹介します！

### ① MOA 美術館利府児童作品展実行委員会/利府町

- ▶ 令和6年度新規加入団体
- ▶ 令和6年度仙台支部交流促進助成金 活用団体

#### ● MOA 美術館利府児童作品展実行委員会 とは

新しい時代の多様な社会において子どもたちの「生きる力」を育み、よりよい社会を創っていくために、感性や創造性、情操を養い、豊かな心を育てることを願って利府町において作品展を開催している団体です。

#### ● MISSION： 美育活動を通した、心身ともに健康で活力のあるコミュニティづくり

本実行委員会では、作品展の開催のみではなく、地域の小学校への花の生け込みボランティアなどの美育活動も行っており、地域で子どもたちを育てていくことを大切にして、地域社会の絆を深め、心身ともに健康な活力のあるコミュニティづくりを目指して活動しております。

#### ● EVENT： 利府児童作品展

MOA 美術館児童作品展は、子どもたちが表現活動を通して感性や創造性、情操を養い、豊かな心を育てることを目的に実施されています。本実行委員会はその趣旨に賛同し、利府町にて作品展を開催すべく活動しており、利府町内の小学校から作品を募集し、応募された全ての作品を審査、展示をしています。作品展は今年度で4回目の開催を迎えることができました。

今年度の作品展は、令和6年12月14日(土)、15日(日)の2日間にわたり、利府町の文化交流センター(リフノス)を会場に開催しました。



開催にあたっては、実行委員会のメンバーの中で「みんなが主人公、楽しい作品展になりますように」という想いを共有して準備を進め、実行委員からのアイデアをもとに作品の展示だけではなく、一輪挿し体験ができるコーナーを設け、33人の方にご参加いただきました。また、当日の運営にあたっては地元の利府高等学校 JRC 部の生徒にもご協力をいただいたことで、世代を超えた交流をすることができ、終始和やかで明るい雰囲気の会場づくりをすることができました。

作品展当日は、作品を出展した子どもたちやそのご家族を中心にたくさんの方々に足を運んでいただき、とあるお子さんの家族の方は、親戚の方を伴って3回も来場いただき、これも地域に密着して実施できる作品展ならではのものだと感じました。



## ② 吉岡宿にしぴりかの映画祭実行委員会/大和町

- ▶ 令和6年度地域づくり団体活動支援助成金 活用団体
- ▶ 令和6年度仙台支部交流促進助成金 活用団体

### ● 吉岡宿にしぴりかの映画祭実行委員会 とは

2016年の障害者差別解消法の施行をきっかけに設立されました。「見渡せば知らないことばかりのこの世界。まずはゆっくり近づいてみよう。」をコンセプトに、障がいやマイノリティなどがテーマのドキュメンタリー映画を上映する映画祭を、大和町吉岡の地で開催しています。

### ● MISSION：見渡せば知らないことばかりのこの世界。まずはゆっくり近づいてみよう。

「人は様々である」と知ることで、様々な生きづらさを抱えている人たちが尊重されるべき個人であると認識されていくことが差別解消の基本であるという理念のもと、それを伝える手段として「映画」の力に着目し、映画祭を開催しています。映画祭の開催を通して、参加した人たちが感じたことを共有しあうことで「知らない世界を共に知り、共に考えていく場を生み出す」ことを目的にしています。

### ● EVENT：第8回 吉岡宿にしぴりかの映画祭

令和6年11月30日(土)、12月1日(日)の2日間にわたり、映画祭を開催しました。2016年にスタートした本映画祭は今回で8回目を迎えます。感染症拡大の影響により、2019年以降は仙台の会場で規模を縮小して開催していましたが、1年の休止を経て、今年度は本来の開催地である大和町吉岡の「にしぴりかの美術館」に戻り、再開することができました。地方での開催は集客の困難が予想されますが、参加される方々に、忘れ去られがちな地方(=私たちの居場所)に足を運んでもらって、忘れ去られがちなものを考えてもらうということに意味を見出したい思いもあります。その



ように集客難を覚悟していたのですが、予想を裏切り当日は大勢の方々が来館してくださいました。これまでの活動の成果でしょうか。継続して行くことの力を感しました。

上映した作品は、在日韓国・朝鮮人をテーマとした『アリララブソディ』、難病 ALS をテーマとした『杵(はる)かなる』、原発事故による遅発性 PTSD をテーマとした『生きて、生きて、生きろ。』、ハンセン病をテーマとした『かづゑ的』、性暴力をテーマとした『アフター・ミー・トゥー』の計 5 作品です。生まれのルーツや難病、過酷な体験などをテーマとしたドキュメンタリー映画を 2 日間で上映しました。また、一部の作品については、監督や出演者を交えたアフタートークを実施し、参加者とともにテーマを深く掘り下げ、「さまざまな人」への理解を深める場を設けました。



当日は、地域住民の方々を中心に多くの方にご来場いただきました。今回上映した映画は「知っているようで知らない世界」を描いたものであり、映画上映とアフタートークを通じて、主催者である私たちや当事者であるゲストの方々を含め、参加者の皆さんとそれぞれのテーマについて深く考えることができたことを嬉しく思います。参加して下さった方々が「自分のこと」として受止め、自分のことをトークの場で明かしてくれる場に成れたのも映画の力だと思います。人と人の共感の輪が広がった時間になり今まで以上に各自の心が揺さぶられる機会になりました。

ご参加の方々はもともと社会問題への関心が高い人が多いと思われませんが、それでも「今まで知らなかったことを知り、考えさせられる良い機会だった」との声が寄せられました。今回の映画祭を通じて、それぞれが感じたことを忘れずに、参加された皆さんが地域社会における差別解消の啓発に向けた契機となることを願っています。

## 2 県協議会主催の研修会に参加しました！ ～みやぎ地域づくり団体協議会レポート～

昨年度、気仙沼・本吉地区で開催された県協議会主催の「みやぎ地域づくり団体協議会研修会」が、今年度は令和6年11月29日(金)に大崎市で開催されました。

はじめに、鳴子温泉もりたびの会の理事を務める加賀氏より、「人と地域の個性を活かしたまちづくり～鳴子温泉もりたびの会を核として展開する様々な取り組み紹介～」と題し、鳴子や川渡をはじめとした周辺地域における魅力やその魅力を活用した地域づくりに関する講和がありました。

鳴子地域は大崎市の中でも人口減少が著しいという課題がある一方で、魅力的な人が多い、アクションを起こしたときの自己効力感が大きい、そして自然豊かな森林が広がっているといった魅力があると加賀氏は言います。

加賀氏が理事を務める「鳴子温泉もりたびの会」は、鳴子で活動する多様なメンバーで構成されている協議会です。加賀氏からは環境体験を通じた学生との交流や文化資源を活かした土産物の商品化など、もりたびの会の活動について紹介がありました。また、もりたびの会のメンバーである事業者が、鳴子地域の木材を活用したバイオマスエネルギーを住宅群「サスティナヴィレッジ鳴子」に供給するという、地域の未利用材を活用したエネ



ルギー循環についても取り組んでいるというお話がありました。サステナビリティ鳴子での取組が鳴子地域全体に広がっていき、「エコタウン鳴子」として持続可能なまちづくりができるように取り組んでいるとのことでした。



講話後には、「エコタウン鳴子」の実現に向けた第一歩としてサステナビリティ鳴子と同様のエネルギー供給システムを導入している「認定鳴子こども園」の見学会がありました。園舎の横にあるボイラー室から、バイオマスを活用した熱電供給ができる仕組みになっているとのことでした。

園舎は地元の山主さんから提供された木材を活用して建造されており、園舎内にある家具も同様に地域の木材を活用してつくられているとのことでした。通っている園児の方々のみならず、働く職員の方々も木の温もりを感じながら、のびのび過ごすことができているとのこと。園長先生からは地域の繋がりを大事にしている、鳴子ならではの取組との説明がありました。

こども園の見学終了後には、会場を大崎市役所に移してNPO法人おおさき地域創造研究会の赤坂理事を講師に「これからの地域づくりに欠かせない2つのこと」をテーマに講演が行われました。講演では、これからの地域づくりににはどんなことが必要なのか、そして必要なものの実現のためにどんな方法がとれるのか等について、データエンジニアとしての経験をもつ赤坂氏ならではの視点から語られました。

今回の研修に参加し、地域の自然環境やそこに根付いた文化、そこで活動する人々のつながりなど、地域資源を活かした取り組みがとても魅力的に映ることを実感しました。研修会でご登壇いただいた皆様のお話を伺い、地域づくりに取り組む人たちが地域の魅力を理解し、「うちの地域はここが強みなんだ！」と自信を持って言えることが、魅力ある地域づくりにには欠かせないと学びました。

このような研修会は、さまざまな機関が主体となって実施していると思いますので、機会があれば参加してみてください！

## 3 事務局からのお知らせ

### ① 全国協議会助成事業の募集が開始されました

昨年に引き続き、令和7年度の全国協議会助成事業の募集が始まりました。

- ▶地域づくり団体活動支援事業
- ▶地域づくり団体クラウドファンディング活用支援事業

助成金を活用するためには、全国協議会への登録と、(一財)地域活性化センター賛助会員(年会費3,000円)への登録が必要となります。

※当助成事業は予算額に達し次第受付終了となります。

活用を検討される場合は、計画ができた段階で当事務局までお早めにお問い合わせください。

## ② その他のお知らせ

### ● 会員登録情報の変更について

今年度、会員情報の確認にご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

引き続き、住所、電話番号、メールアドレス、ご担当者様の変更などがあった場合には、所定の様式で変更の手続きを行う必要がありますので、ご協力お願いいたします。

### ● イベント情報の募集

仙台支部では、ネットワーク仙台的の発行だけではなく、支部会員の皆様へ情報メールを送信しています。会員の皆様へお知らせしたいイベント情報がありましたら、ぜひ事務局までお寄せください！

## 4 編集後記

本情報誌「ネットワーク仙台」では、県協議会や仙台支部の取組、会員団体の活動などに関する紹介をしております。今回は、今年度助成金を活用した団体の取組とみやぎ地域づくり団体協議会主催の研修会について紹介をしました。少しでも今後の活動のヒントやつながりのきっかけになれば幸いです。

また、お忙しいところ記事の掲載にご協力いただきました、MOA 美術館利府児童作品展実行委員会様、吉岡宿にしびりかの映画祭実行委員会 様、誠にありがとうございました。この場を借りて感謝申し上げます。（事務局 立花）

### 【発行】

みやぎ地域づくり団体協議会仙台支部事務局（宮城県仙台地方振興事務所地方振興部 内）

〒981-8505 仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号

TEL:022-275-9114 FAX:022-275-0296

E-mail:[sdsinbk@pref.miyagi.lg.jp](mailto:sdsinbk@pref.miyagi.lg.jp)

支部HP:<https://www.pref.miyagi.jp/site/kouiki-sendai/tiikidukurisendai29-7.html>